

PPI/P-CABのフォーミュラリー

2023年6月改訂

効能・効果	第一選択薬	第二選択薬
胃潰瘍 (GU)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">エソメプラゾールCap</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">タケキャブ錠</div> <p>以下の場合には使用を考慮できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期の症状緩和が必要な場合^{注)} 注)症状改善後は第一選択薬への変更を検討すること。 ・強い制酸効果が必要な場合 ・心血管イベントリスクが高い患者にLDAを投与する場合 <p><注意> 「吻合部潰瘍」, 「Zollinger-Ellison症候群」, 「非びらん性胃食道逆流症」の適応はない</p>
十二指腸潰瘍 (DU)		
吻合部潰瘍		
Zollinger-Ellison症候群		
非びらん性胃食道逆流症		
低用量アスピリン (LDA) 投与時のGU, DUの再発抑制		
NSAIDs投与時のGU, DUの再発抑制	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ネキシウム懸濁用顆粒分包</div> <p>以下の場合には使用を考慮すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嚥下困難な場合 ・「非びらん性胃食道逆流症」にエソメプラゾールを投与する場合 	
逆流性食道炎：軽症		
逆流性食道炎：重症		-
ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ボノサップパック400 (タケキャブ錠)</div>	-

■補足

- 小児に対して以下の適応を有しているのは「エソメプラゾールカプセル」、「ネキシウム懸濁用顆粒分包」のみです。
GU, DU, 吻合部潰瘍, Zollinger-Ellison症候群, 逆流性食道炎, 非びらん性胃食道逆流症
- NSAIDs潰瘍のリスク因子として、以下が報告されています。リスク因子を確認のうえ、薬剤を選択ください。
 - ・高リスク：消化管出血を伴った潰瘍既往歴
 - ・中等度のリスク：高齢者、潰瘍の既往、糖質ステロイドの併用、高用量NSAIDsや2種類以上のNSAIDs使用患者、抗凝固・抗血小板作用のある薬剤の併用、*H. pylori*陽性者、重篤な全身疾患を有する者、ビスホスホネートの併用